

## あ と が き

透析医会の機関誌として、このたび日本透析医会雑誌を発行することになった。

人工透析療法が円滑な発展を続けてゆくためには、社会科学的な視野に基づいたアプローチが、現在ほど期待されている時はないし、将来もますますその重要性を深めていくであろう。

第一巻第一号に掲載された「透析導入時の患者調査」と「日本海中部地震における透析の実態調査報告」は、その出発点としてふさわしいものであると思う。今後、この雑誌を中心としてこの分野の研究が発展し、透析療法が地域社会におけるバランスのとれた治療法として、着実な歩みを続けていくことを編集員一同心から願っている。

会員諸君の活発なる投稿をお願いする次第である。

太田和宏